



©Martin Richardson

指揮:尾高忠明  
ソプラノ:森谷真理  
メゾソプラノ:加納悦子  
管弦楽:大阪フィルハーモニー交響楽団  
合唱:大阪フィルハーモニー合唱団(合唱指導:福島章恭)

大阪フィル × 尾高忠明  
マーラー 復活  
グスタフ・マーラー / 交響曲第2番〈復活〉

Gustav Mahler  
Symphonie Nr.2  
Auferstehen

2024 8.2 | 金 | 19:00開演(18:00開場) ※休憩なし / 20:30終演予定  
フェスティバルホール (大阪市北区中之島2-3-18)

チケット料金(全席指定・消費税込み)

S席 8,500円 / A席 7,500円 / B席 6,500円 / SS席 10,000円 / BOX席 13,000円

バルコニーBOX(2席セット) 17,000円 / 学生 3,000円

\*バルコニーBOX席はフェスティバルホール チケットセンターでの電話予約のみ

\*学生席はフェスティバルホール チケットセンターのみで販売(25歳以下/学生本人の名前で予約ください/当日指定券と引き換え/引き換え時、学生証をご提示ください)

チケット一般発売

3/23[土]10:00

チケット・  
お問い合わせ

フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221 (10:00~18:00) <https://www.festivalhall.jp> [要事前登録]

\*フェスティバルホール「友の会」優先予約:3/16[土]10:00~ \*窓口での取り扱い:3/24[日]10:00~(残席がある場合のみ)

大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890 (平日 10:00~18:00/土曜 10:00~13:00/日祝休み)

\*大阪フィル会員優先発売:3/19[火]10:00~

主催:朝日新聞文化財団、朝日新聞社、大阪フィルハーモニー協会、フェスティバルホール

協賛:朝日放送グループホールディングス、竹中工務店

※やむを得ない事情により曲目、出演者等が一部変更になる場合がございます。公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

# 創立名誉指揮者・朝比奈隆、桂冠指揮者・大植英次と共に伝統を重ねてきた大阪フィルの「復活」。 音楽監督7年目を迎える尾高忠明が今、満を持して挑む。

## 指揮者・尾高忠明が語るマーラー〈復活〉

マーラーの偉大なる交響曲第2番「復活」は、素晴らしい作品だ。第1楽章冒頭の壮絶さ、印象的な葬送行進曲風の部分。それに対比するような第2楽章の美しさ。現実世界に立ち戻り、舞踏の変化を表出した第3楽章。そしてついに肉声が入る。「Urlicht(原光)」、この第4楽章でのビルギット・レンメルトの歌唱は、共演した2回ともに圧倒的だった。

そして最終楽章、オーケストラによって長い人生の葛藤が描かれた後、ついに、合唱が歌い出す。「Auferstehen(復活)」! ここほど合唱の登場が印象的な作品はない。今回、大阪フィルとこの大作を演奏できることに、大なる喜びを感じている。

大作なので節目で演奏されることが多いが、私にとって特に心に残る演奏を挙げてみたい。

47年前、ジュネス(青少年音楽祭)で演奏したのが初めての「復活」だった。1978年東京フィルの第200回定期、1989年渋谷・オーチャードホールの柿落としなど思い出深い。N響では1991年に演奏した。

今や立派な指揮者になったダニエル・ハーディングは、1992年英国のナショナル・ユース・オーケストラでバンドのトランペットを吹いていた。合宿中、「指揮者になりたいけどどうしたら良いですか?」と聞くので、「サイモン・ラトルさんを訪ねたら良いよ」と言ったのを彼もどこかに書いていた。懐かしい。

BBC ウェールズ・ナショナル管弦楽団で、前述のレンメルトと演奏したとき、コーラスはBBCとライブツィヒ放送合唱団の合同だった。本番が終わり家に帰ると、警察から電話があった! 「東ドイツの合唱団員がお宅にいますか?」「いいえ」。翌日わかったが、オーケストラのメンバーが手引きして、合唱団員の一人を亡命させたのだった。演奏会で彼は歌っていたのだ。東側の国から西側の国へ自由を求めながら!

2007年にはレンメルトにお願いして札幌でも演奏した。札幌のキタラホールで彼女が「Urlicht」を歌い出した時、キタラホールは聖なるホールになったと感じ入った。

### 尾高忠明 Tadaaki OTAKA

大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督。国内主要オーケストラへの定期的な客演に加え、ロンドン響、ベルリン放送響など世界各地のオーケストラへ客演。これまで1991年度サントリー音楽賞受賞。1993年ウェールズ音楽演劇大学より名誉会員の称号、ウェールズ大学より名誉博士号、1997年英国エリザベス女王より大英勳章CBEを、さらに1999年には英国エルガー協会より日本人初のエルガー・メダルを授与。2021年旭日小綬章を受章。2012年有馬賞、2014年北海道文化賞、2018年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞、日本放送協会放送文化賞、2019年第49回JXTG音楽賞洋楽部門本賞、2021年12月大阪市民表彰を受賞。

## 大阪フィルハーモニー交響楽団 OSAKA PHILHARMONIC ORCHESTRA

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立、1960年改称。2018年4月、尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール(大阪・中之島)を中心に全国各地で演奏活動を展開している。2024年4月より、クラリネット奏者のダニエル・オッテンザマーがアーティスト・イン・レジデンスに就任予定。

<https://www.osaka-phil.com>

## 大阪フィルハーモニー合唱団

OSAKA PHILHARMONIC CHORUS

大阪フィルハーモニー交響楽団の専属合唱団として1973年創立、2023年に創立50周年を迎えた。定期演奏会などの主催公演をはじめ、他楽団の演奏会にも広く出演。

2015年7月から合唱指揮者に福島章恭が就任。2018年9月には、ライブツィヒのトーマス教会において初の海外公演となるバッハ「ロ短調ミサ」の演奏を行った。



©飯島隆



ソプラノ: 森谷真理



メゾソプラノ: 加納悦子

チケット・お問い合わせ | フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221 (10:00~18:00) <https://www.festivalhall.jp> [要事前登録]  
大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890 (平日10:00~18:00/土曜10:00~13:00/日祝休み)

●チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード:262-788] ●ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:53410]  
●CNプレイガイド <https://www.cnplayguide.com/> 0570-08-9990 ●e+(イープラス) <https://eplus.jp/> ●セブンチケット <https://7ticket.jp/sc/21nh>